

令和4年度「施政方針」施策の実績内容

年度末実績自己評価：事業実績：○予定通り実施済、△コロナ禍による一部未達成、▲一部未達成、×未達成(未着手)、－その他(該当なし等)

R4施策(事業)名	R4施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
◆健康福祉施策					
①子育て支援	<p>子育て支援施設「子育て支援センター あいあい」において、「地域子育て支援拠点事業」、「ファミリー・サポート・センター事業」、「利用者支援事業」を実施し、保健センターとも連携を図りながら、一層充実した子育て支援を行います。</p> <p>また、保護者の経済的負担の軽減を図るため、3歳児以上の就学前児童の保育園等保育料の無償化や、中学校卒業までの医療費の保険適用に対する自己負担分の助成を行います。</p>	<p>子育て支援センターあいあい等において各種の子育て支援事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援拠点利用者数(あいあい)延べ2,933人(しょうえんこどもこそだてルーム) 延べ916人 ・利用者支援事業 相談件数 409件(乳幼児健診年18回、しょうえんこどもこそだてルーム巡回相談年1回実施) ・ちばMyStyleDiaryの配信 ・ファミリー・サポート・センター事業 利用会員66名、協力会員23名、両方会員6名、活動件数101件 <p>幼児教育・保育無償化(幼児教育認定は満3歳児から、保育認定は3歳児から保育料等を無償化としました。)</p> <p>①施設等利用者給付認定 私立幼稚園6園/利用児童数63人・認可外保育園2園/利用児童数3人</p> <p>②施設型給付1号(教育標準時間)教育認定 私立認定こども園4園/利用児童数70人</p> <p>③施設型給付2号(3歳以上児)保育認定 公・私立認定こども園等8園/利用児童数188人</p> <p>子ども医療費助成事業(出生から15歳の年度末までの子どもの保険診療に対する医療費について助成しました。)</p> <p>課税世帯「入院」200円/1日・「通院」200円/1回・「調剤」0円/1回 非課税世帯(市町村民税所得割非課税まで)「入院」「通院」「調剤」無料支給対象児童 1,953人</p>	<p>子育て支援センターでは、予約制・人数制限は行っていましたが、地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業、ファミリーサポートセンター事業について、利用者の増加が見られました。</p> <p>子ども医療費に対する助成に加え、幼児教育・保育無償化により、子育て世帯の経済的負担の軽減が図られました。</p>	○	子ども課

R4施策 (事業)名	R4施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
②移動支援	<p>高齢者などの日常生活を支援するため、町社会福祉協議会に委託してふれ愛タクシーを運行するほか、重度の障害者や、要支援2又は要介護認定を受けている方に福祉タクシー料金の一部を助成します。</p> <p>また、運転免許証を有していない満75歳以上の方や、運転免許証を自主返納された70歳以上75歳未満の方に、タクシー利用助成券を交付します。</p>	<p>ふれ愛タクシー運行事業 利用回数 10,066回 (2月末現在)</p> <p>福祉タクシー事業 タクシー券交付人数 127人 利用回数 1,774回 (2月請求分まで)</p> <p>高齢者外出支援タクシー利用助成事業 タクシー券交付人数 542人 利用回数 6,792回 (2月請求分まで)</p> <p>高齢者運転免許証自主返納支援事業 タクシー券交付人数 13人 利用回数 82回 (2月請求分まで)</p>	<p>高齢者、障害者の日常生活における利便性の向上と社会活動の拡大が図れました。</p> <p>今後も、利用者のニーズを把握し、事業内容の向上を検討します。</p>	○	健康福祉課
③生きがい支援	<p>老人福祉大会や、80歳の青年式を開催するほか、婚姻後50周年を迎えたご夫婦に記念品を贈ります。</p>	<p>○老人福祉大会 新型コロナウイルス感染予防のため中止</p> <p>88歳のお祝い 対象者 100人 (郵送にて記念品送付済)</p> <p>○80歳の青年式 12月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染予防のため中止</p> <p>○結婚50周年夫婦記念品支給事業 本年1月から12月に結婚50周年を迎えるご夫婦に写真店でご夫婦の写真を撮影できる引換券を交付。</p> <p>申請件数 27組</p>	<p>・多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝い、今後も健康で明るい生活を営むことを願い、老人福祉の向上を図ることができました。</p> <p>・老人福祉大会懇談会を開催し、事業内容の変更について調整・検討を行いました。</p>	○	健康福祉課

R4施策 (事業)名	R4施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
④健康づくり	<p>交流拠点施設「げんき館」を活用し、高齢者と多世代の町民との交流を促進し、町民一人ひとりがそれぞれのライフステージにあった健康づくりに取り組み、いつまでも元気な暮らしを楽しむことができるよう支援します。また、介護保険の認定を受けていない60歳以上の方々を対象に、生きがいのある生活を送ることで要介護状態への移行を予防することを目的に、週3回の「生きがいデイサービス事業」を行います。</p>	<p>「げんき館」は7月から(月曜日・年末年始休館日)指定管理者である(株)グッドスタッフによる運営に切り替わり運営しております。 「生きがいデイサービス事業」は、5月までは人数を分けて午前と午後に活動をしていましたが、6月から人数を分けて、午前中の活動のみとなりました。</p>	<p>「げんき館」はイベント等を開催することにより、地域の交流の場として浸透はじめています。 「生きがいデイサービス」は、活動人数が増えたことにより、参加人数も少し増加傾向です。</p>	○	健康福祉課
⑤介護予防事業	<p>地域で自主的に介護予防に取り組むサークルなどの活動支援のために、希望するサークルなどに講師の派遣や、地域での介護予防を広げるために、しずいハート体操の普及の促進及び介護予防グループのリーダー養成を行います。</p>	<p>8月に予定していた介護予防教室は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、中止しました。9月からの教室は以下の通り開催しました。 健康太極拳A 実4人 延べ7人 健康太極拳B 実13人 延べ32人 初めてのヨガA 実8人 延べ21人 初めてのヨガB 実11人 延べ32人 初めてのヨガC 実12人 延べ31人 初めてのヨガD 実 9人 延べ27人 やさしいエアロビクスA 実10人 延べ27人 やさしいエアロビクスB 実11人 延べ31人 コグニサイズ 実16人 延べ16人 元気はつらつ教室 実7人 延べ20人 しずいハート体操教室B 実10人 延べ26人 しずいハート体操普及サポーター養成講座A 実8人 延べ18人 しずいハート体操普及サポーター養成講座B 実8人 延べ22人</p> <p>出前健康講座 8回開催 124人参加</p>	<p>高齢者の健康づくりを促進し、介護予防に寄与しました。 参加者からは、「運動するようになって心がかけるようになった」「参加して楽しい」「体が軽くなった」などの意見が聞かれました。</p>	○	健康福祉課

R4施策 (事業)名	R4施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
⑥母子保健	<p>妊娠届け出時に親子すこやかプランの作成や、妊婦健診、乳幼児健診、マタニティ・ママパパクラス、訪問指導、心理発達相談などの事業を通して切れ目のない支援を行い、安心して妊娠、出産、子育てが行えるよう包括的な支援を行います。また、出産祝品として絵本を配布する「ブックスタート」や「不育症治療費助成事業」、「ママ・パパ歯科検診」、「妊婦・乳児支援タクシー事業」の実施など、町独自の子育て支援施策を実施するとともに、家族などから産後の協力を得ることが難しい家庭に助産師が訪問し、相談指導を行う「産後ケア事業」を継続して行います。</p>	<p>母子健康手帳交付 92件 新生児訪問指導 80件 養育支援訪問事業 実2件延3件 マタニティママパパクラス 参加者 妊婦21人 家族17人 延べ64人 乳児相談 4か月 対象者 88人 参加者 73人(83.0%) 10か月 対象者 100人 参加者 75人(75.0%) 1歳6か月児健康診査 対象者 80人 受診者 74人(92.5%)6回実施 2歳児歯科健康診査 対象者 131人 受診者 90人(68.7%)5回実施 3歳児健康診査 対象者 100人 受診者 92人(85.2%)6回実施 幼児健診事後指導 12回実施 延べ 68組 親子相談 9回実施 延べ 13組 ことばの教室 25回実施 延べ 62人 ブックスタート 85組 ママ・パパ歯科検診 ママ26人 パパ16人 妊婦乳児支援タクシー利用券発行 60人 産後ケア事業 実人数2人 延べ5人</p>	<p>各種母子保健事業を実施し、母子の健康の保持増進及び、妊娠、出産、育児の不安の軽減等を行うことができました。</p>	○	健康福祉課

R4施策 (事業)名	R4施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
①学校教育の充実	<p>現在借地している酒々井小学校用地の取得と中学校のスポーツ環境の改善を図るため、グラウンド拡張に向けた調整等を行います。また、町独自事業として、特色ある教育活動を推進するため「学習指導等専門支援員配置事業」やALT(外国語指導助手)サポート及び外国人等への日本語指導を行う「教育アドバイザー配置事業」、養護教諭が不在時に学校へ出向き対応などを行う「学校保健支援教員配置事業」を実施します。また、新たに保護者の経済的負担を軽減するため、町立小中学校が実施する修学旅行への補助を行います。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により学校用地公有化の促進に向けて、地権者の方と話し合いの場を持つ事が困難となりました。</p> <p>小・中学校に計画どおり、学習指導等専門支援員、学習活動支援員等を配置すると共に、教育アドバイザー、学校保健支援教員、ICT授業支援教員等を必要に応じて派遣することができており、ほぼ100%、計画どおりに人員配置事業を実施することができています。</p> <p>また、各小・中学校の修学旅行への補助についても全て完了しました。</p>	<p>地権者の方と話し合いの場を持つことができなかった。</p> <p>学習指導等専門支援員、学習活動支援員等の各小・中学校への配置により、児童生徒に対し、個に応じた指導・支援ができました。また、昨年度から実施したICT授業支援教員の配置により、1人1台PCに係る教員研修及びPCを活用した授業づくりも計画どおりに進めることができており、児童生徒にとってわかりやすい授業を推進することができました。</p>	<p>△</p> <p>○</p>	<p>こども課・学校教育課</p>

R4施策 (事業)名	R4施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
◆教育文化施策					
②酒々井学	<p>地域学習の支援では、「酒々井学」の学習プログラムを作成・実施し、子どもたちの酒々井町に対するふるさと意識を育みます。また、「酒々井学」を通じて、自ら考え、自ら判断する意識の醸成を図るため、児童生徒等に主権者意識を育むための学習を推進します。</p>	<p>担当職員を配置し行政と学校との連携による酒々井学の推進を図りました。これまでに、9つのプログラムと生涯学習(青樹堂)の講義を実施しました。主権者教育として、昨年度に総務省の委託業務「主権者教育優良事例普及推進事業」で作成した資料を活用し、模擬投票(選挙管理委員会連携)やこども模擬議会(政策秘書室主催・議会事務局連携)を行いました。また、こども模擬議会に参加できない児童向けに、試験的にネット配信を実施しました。</p>	<p>酒々井学の実践は戦略的広報活動により、町の特色ある教育活動として町内外に周知されるようになりました。特に主権者教育については、メディアを通して、県内はもとより、全国から問い合わせが来るようになり、町の教育事業に対する理解と啓発につながっています。「こども模擬議会」のネット配信については、学校から、待機児童にとって教育的効果が得られたとの報告がありました。</p>	○	学校教育課
③一貫した外国語教育	<p>小・中学校に1名ずつ配置しているALT(外国語指導助手)により、ネイティブな英語にふれることで、学習意欲、異文化理解及びコミュニケーション能力の向上を図り、児童生徒の確かな学力を育むとともに、保育園で養われた英語力を小学校で途切れることなく中学校へつなげることで一貫した外国語教育を実施します。また、これまで町立中学校の3年生を対象に実施していた、英語検定への助成を町立小学校6年生にも拡充して「パワーアップE」事業を継続するほか、外国語教育だけでなく、国語力を高める教育にも力を入れ、しっかりと日本の文化や歴史を世界に発信できる子どもたちを育てます。</p>	<p>各小学校へ1名ずつ英語専科教員を、各小・中学校へ1名ずつALTを配置しました。</p> <p>国際交流派遣事業は、今年度に引き続き令和5年度も新型コロナウイルス感染症の影響により中止としました。また、国際交流受入れ事業については、令和6年度への延期を決定しました。なお、ドイツの交流校とは、ビデオレターによる交流を実施することができました。</p> <p>パワーアップE事業については、令和4年度末時点で、酒々井中学校3年生の生徒の3級以上の取得率が49.0%となっており、昨年同時期の39.7%を上回る状況です。また、6年生の受検については、中学校の英語科のアドバイスを得ながら、準備を進めることができました。今後も6年生を含め、英語検定受検に対する助成を継続する予定です。</p>	<p>小学校高学年では、担任、英語専科教員、ALTが3人体制で英語授業を実施し、きめ細やかな指導をすることができています。また、各小学校では、随時、英語専科教員が講師となって指導方法等の研修会を開催し、校内の担任が行う授業研究のアドバイスをするなど、教員の指導力向上に努めています。</p> <p>パワーアップE事業に係る英語検定は、中学校の対象生徒の93.5%が受検し、小学6年生は、対象児童の23.0%が受検しました。受験を希望した児童生徒に、英語に対する学習意欲向上の効果が得られました。</p>	○	学校教育課

R4施策 (事業)名	R4施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
④学校給食	<p>児童・生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスの取れたおいしい学校給食を実施し、学校給食を活用した食育の指導・推進を図り、児童・生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養います。特に、子どもたちの郷土愛を育むため、町独自に酒々井町産の米や野菜、加工品の味噌などを購入し、地元産食材の利用を促進します。さらに、子育て世帯、特に多子家庭の保護者の経済的負担を軽減するため、引き続き第3子以降の学校給食費を免除します。</p>	<p>実施予定193回に対して予定どおり193回の給食提供を行った。また、小学校において栄養士による食育授業を実施したほか、中学校では校内放送による講話を行った。なお、酒々井産の米や野菜・味噌を積極的に活用した結果、購入金額全体の40.6%を酒々井産で賄うことができた。第3子以降児童生徒の給食費については、110世帯・127人に対して6,408千円の負担軽減を実施しました。</p>	<p>小学校1年生～6年生を対象に食育授業を実施し、健康を含む食の大切さや生産者・流通関係者など食に携わる方々への感謝などについて、学年に応じて自然と知識が身につくよう、複合的な視点から児童の気付きを促した。また、中学校においては、生徒が行う残菜調査に協力し、その後の残菜量の減少につなげることができました。</p> <p>町内協力農家等との連携のもと、地元産の米・野菜及び味噌を積極的に活用するとともに、献立表や給食センターだよりへの地元産野菜等の使用について記載することにより、児童生徒の地元酒々井町への郷土愛の醸成につなげることができたと考えています。</p>	○	給食センター

R4施策 (事業)名	R4施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
⑤国史跡 本佐倉城 跡保存整 備	<p>国史跡本佐倉城跡保存整備のため城山郭等の危険木・障害木の一部伐採を継続して行うほか、周知普及のため案内所の運営を中心に、令和3年度に実施した講演会記録集の刊行や佐倉市と共催での城跡見学会を行うとともに、役場庁舎における調査概要展示の継続及び公民館展示施設の展示品の入れ替えを実施します。</p>	<p>城山郭民家裏の危険木4本及び周辺の支障木について1月上～中旬に作業を行い、終了しました。また案内所については運営委託を行っている本佐倉城跡管理組合と連携を取りながら順調に運営を継続し、令和4年度には来場者として11,404人が訪れました。講演会記録集については3/20に550部の作成が終了し、刊行しました。令和5年度より案内所等で販売を行う予定です。見学会は佐倉市、酒々井ふるさとガイドの会、佐倉の城跡をたずねる会と共催で2/25に実施し、66名の参加者がありました。役場庁舎における調査概要展示については継続して実施を行い、公民館ロビーの展示は3月上旬に展示替えを行い、3/14から「目で見る酒々井3万年の歴史」と題して、町の通史展示を開始しました。進捗率100%。</p>	<p>国史跡本佐倉城跡案内所を中心にさらなる本佐倉城跡のPR・利用を推進させ、来城者の増加・利便性の向上を図ることができ、町の観光拠点の一つとしてさらなる活用や交流人口の増加が見込まれます。</p>	○	生涯学習課

R4施策 (事業)名	R4施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
⑥墨古沢遺跡	令和元年10月に国史跡となった、約3万4千年前の人類の生活痕跡であり、日本最大級の環状ブロック群を有する「墨古沢遺跡」について、整備・活用の方法を具体的に検討するための整備活用委員会を継続して開催し、「整備基本設計書」の作成に取り組みます。	本年度、第4回整備活用委員会を6/28に、第5回整備活用委員会を3/10に開催して、これまでに策定を行った「保存活用計画」「整備基本計画」を基に、「整備基本設計書(道路・駐車場等)」の作成を行い、終了しました。作成にあたっては、ネクスコ東日本や清掃組合、印旛土木事務所等の関係各機関との協議・調整を進めながら、取り組みました。進捗率100%。令和5年度は引き続き遺構整備とガイダンス整備の基本設計を実施する予定です。	これまでに策定した「保存活用計画」「整備基本計画」を基に、より具体的な整備の方法を検討した「整備基本設計書」を作成すること、また史跡および周辺用地の公有地化を図ること、今後の貴重な遺跡の保存・整備・活用や周知を行うことができ、国・県の補助金を活用しながら整備事業を円滑に進めていくことができます。	○	生涯学習課
⑦酒々井の伝説ものづくり事業	昔の資産・記憶・民話等の地域の資源・宝を整理し、“見える化”するため、データ化等により後世へ伝承するとともに、町内外へ発信し、交流・関係人口の増進を図ります。酒々井民話絵本を通じて、町の魅力である歴史と文化を発信し、郷土愛や地域への誇りを育みます。	しすいみんな絵本既刊10冊を保管できる収納ボックスを600個作成し、町内幼稚園及び保育園に通う児童に対して約400個配布をしました。また5月に立ち上げた酒々井百話の会では、絵本の普及・周知活動について検討をしました。町内外への情報発信として、ケーブルネット296において絵本の読み聞かせを放送いただきました(9月10日より約1ヶ月放送)。周知活動として3月24日から10日間、プレミアム酒々井において「しすいみんな絵本とその風景」と題した展示会を開き、のぼりとパネルを展示したほか、パンフレットの配布や読み聞かせを行いました。	配布した絵本を収納していただき長きにわたり保管してもらうことで、民話の継承や郷土愛の育成が期待されます。また、展示会を通して、絵本の周知を図るとともに町の民話に興味を持ってもらえる場を作りました。	○	生涯学習課
⑧青少年健全育成	6年生を対象に、日本有数の星空などの観光資源や美しい自然環境の中での体験学習ができる「北海道陸別町」、さらに、5年生を対象に、酒々井町と同じ「日本一古い歴史ある町」として知られ、美しい大自然の中で野外活動体験ができる「群馬県長野原町」において、それぞれの児童との交流を図ります。	令和4年度は、6年生を対象とした北海道陸別町との交流事業、5年生を対象とした群馬県長野原町との交流事業ともに新型コロナウイルスの感染状況をもとに検討し、旅行先での児童の安全確保が困難であると判断したため、両事業とも中止しました。	令和2年度から令和4年度、新型コロナウイルスの感染のため、事業を中止しています。	-	生涯学習課

R4施策 (事業)名	R4施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
◆生活環境施策					
①消防・防災	<p>新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所運営や防災体制確立のための防災訓練を実施するほか、町内に結成されている自主防災組織に、自助・共助の推進を図るため、防災資機材の購入支援を行うとともに、「ぼうさい出前講座」を実施します。新たに指定された土砂災害警戒区域等を反映した「土砂災害ハザードマップ」の更新を行います。消防団に配備している「小型動力ポンプ積載車」及び「小型動力ポンプ」を更新するとともに、消防団員の出勤報酬等の処遇改善を図ります。</p>	<p>・防災関係については、5月22日から7月9日にかけて、町内7箇所の指定避難所において、新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所運営訓練を自治会参加のもと実施しました。また、6月19日に県との共催により、大雨の発生を想定した土砂災害避難訓練を住民及び各種防災関係機関の参加により、災害対策本部訓練、住民避難訓練、ヘリコプター救出救助訓練、防災講話などを実施しました。さらにぼうさい出前講座では、各自治会等に出向き5団体132名の参加者を対象に実施しました。</p> <p>・消防関係については、消防団に配備している老朽化した小型動力ポンプ積載車及び小型動力ポンプ2台を更新しました。</p> <p>・土砂災害ハザードマップについて、新たに指定された土砂災害警戒区域等を反映した「酒々井町土砂災害ハザードマップ」を作成しました。</p>	<p>・避難所運営訓練及び防災訓練については、各種防災関係機関との連携や職員のスキル向上及び防災への意識付けが図れました。また、ぼうさい出前講座については、住民の防災意識の高揚が図れました。</p> <p>・消防団への小型動力ポンプ積載車等の更新については、火災消火活動における機動力の向上とともに、地域の防災体制の強化が図れました。</p>	○	総務課
②交通安全・防犯	<p>自治会や防犯ボランティア団体による防犯パトロール等の活動拠点である駅前交流センターの運営管理を行うとともに、引き続き警察官OBを配置した「防犯ボックス」を運営し、自治会及び防犯ボランティア団体との合同防犯パトロールや見守り、街頭監視を実施し、地域防犯力の向上と、住民が安心して暮らせる地域づくりを推進します。</p>	<p>・防犯対策については、防犯ボランティア団体と犯罪防止活動の推進及び防犯情勢等の提供を目的に毎月「防犯連絡会」を実施しています。また、佐倉交通安全協会酒々井支部及び佐倉警察署と春の全国交通安全運動期間に町内スーパー店舗前において、交通事故防止、犯罪被害の防止や防犯意識の高揚を図ることを目的とした啓発キャンペーンを実施しました。</p> <p>・防犯ボックス事業については、自治会や防犯ボランティア団体との合同パトロールをはじめ、街頭監視活動、子どもの下校時間帯や女性の帰宅時間帯における見守り活動を実施するとともに、青色防犯パトロールカーを活用して、活動エリア外のパトロール活動を実施し、地域の防犯力の向上を図っています。</p> <p>【令和4年度の活動内容】 合同パトロール122回(13団体)延べ参加人数768名、自主防犯団体への指導助言123回、見守り活動592回、店舗等への防犯指導304回、街頭監視1,698回</p>	<p>・防犯ボックス事業については、勤務員と地域住民による自主防犯団体との合同パトロールや地域の見守り活動を通じてより多くの住民に防犯意識を持ってもらうことができました。また、街頭監視や下校時間・帰宅時間帯における児童や女性等に対する見守り活動などにより、地域の安心感や治安の向上が図られています。</p>	○	総務課

R4施策 (事業)名	R4施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
③環境部 門	<p>地球温暖化対策の一環として、電気自動車及びV2Hシステムの購入・設置費用、住宅用太陽光発電システム、家庭用燃料電池システム(エネファーム)、定置用リチウムイオン蓄電池システムの設置費用への補助金を交付します。「酒々井町2050年脱炭素実現のための再生可能エネルギー導入目標」の脱炭素シナリオの実現に向けた「酒々井町地球温暖化対策実行計画」の策定を進めます。畜犬の登録及び予防注射の管理、啓発を行うとともに、地域の環境保全として飼い主のいない猫の避妊・去勢手術を実施した地域猫活動団体に補助金を交付します。廃棄物の不法投棄や残土の監視活動を強化して、事故や災害の未然防止に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●酒々井町住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金 予算額6,050千円 交付実績 2,280千円 交付率 37.7パーセント ●酒々井町地球温暖化対策実行計画の策定…令和5年2月策定済み ●飼い主のいない猫の避妊・去勢手術費用の補助金 予算額210千円 交付実績 210千円 交付率 100パーセント ●廃棄物の不法投棄や残土事業による災害及び事故の発生 0件 	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金は、当初想定より交付率が低い結果となりましたが、蓄電池などの設備に対しては補助ができ一定の効果がありました。 ●飼い主のいない猫の避妊・去勢手術費補助金は、地域猫活動団体と連携し補助金を全額交付できたことに加え、相談・苦情件数が減少に一定の効果がありました。 ●廃棄物の不法投棄や残土事業による災害、事故は、監視、通報、対応の連携が速やかに行われ事件発生を抑えることができました。 	○	経済環境課

R4施策 (事業)名	R4施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
◆都市基盤施策					
①まちづくり施策	<p>木造戸建て住宅の耐震化を促進するため、耐震診断及び耐震改修工事に係る費用の補助及び雨水の流出抑制や生活環境の向上を図るため、住宅リフォーム工事費用の補助を行います。</p>	<p>(計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の見直し 第1四半期に業務委託の発注を行い、令和6年3月までに見直し業務を実施し、改定した都市マスタープラン及び立地適正化計画を公表する。 ・木造戸建て住宅の耐震診断:3件 ・木造戸建て住宅の耐震改修工事:3件 ・住宅耐震シェルター等整備:3件 ・危険ブロック塀除却:3件 ・家具転倒防止器具購入補助:10件 ・住宅リフォーム工事:30件 <p>(実施状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市マスタープラン及び立地適正化計画の見直し 概ね計画に沿って計画準備、資料収集整理を実施し、令和5年3月末までに上位関連計画の整理、都市の現況動向把握、現行計画の検証、目標達成状況の評価、都市づくりの課題分析を実施した。 ・木造戸建て住宅の耐震診断:1件 ・木造戸建て住宅の耐震改修工事:0件 ・住宅耐震シェルター等整備:0件 ・危険ブロック塀除却:0件 ・家具転倒防止器具購入補助:9件 ・住宅リフォーム工事:29件 	<ul style="list-style-type: none"> ・酒々井町総合計画等の上位計画に基づき、町の将来都市像及び土地利用を明らかにするとともに、地域ごとのまちづくり方針を定め、住民と行政の協働による既定の都市マスタープラン及び立地適正化計画を見直すことにより、町の活性化等に効果があります。 ・住宅の耐震化等については、地震時における木造住宅の安全性を高め、災害に強いまちづくりの推進に効果があります。 ・住宅リフォーム補助については、町民の生活環境の向上と町内産業の活性化を図る効果があります。 	▲	まちづくり課

R4施策 (事業)名	R4施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
②道路整備・維持管理	<p>通学路等の安全確保を優先とした改良工事や無電柱化整備、橋梁長寿命化修繕事業などを、国の交付金を有効に活用しながら順次実施します。</p> <p>また、JR酒々井駅自転車等駐車場を含め、京成酒々井駅及びJR南酒々井駅前の自転車等駐車場の管理を行います。</p>	<p><計画></p> <ul style="list-style-type: none"> 電気事業者(東京電力)及び通信事業者(NTT)へ町道02-009号線電線(通信線)引込工事委託等を実施する。 橋梁長寿命化修繕計画に基づいたJR酒々井駅自由通路の補修工事、高野台橋の補修設計及び、橋梁長寿命化計画の更新業務を実施する。 駐輪場の定期的な点検を実施し、現場内の利用環境を保つ。 <p><実施状況></p> <ul style="list-style-type: none"> 電気事業者(東京電力)へ町道02-009号線電線引込工事委託が完了。 通信事業者(NTT)へ町道02-009号線通信線引込工事委託の一部(県道区域内)が完了。 JR酒々井駅自由通路補修工事、高野台橋補修設計及び橋梁長寿命化修繕計画更新業務が完了。 駐輪場内の見回りを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 電線共同溝を実施することにより、防災機能及び景観が向上しました。 橋梁修繕を計画的に実施することで致命的な損傷を防ぎ長期にわたる利用が出来ます。 駐輪場内の点検をすることで利用状況の把握及び円滑な運用を行うことが出来ます 	○	まちづくり課
①農業施策	<p>農用地・水路等の地域資源の保全管理を行う農業振興地域内の団体に対して多面的機能支払交付金を交付します。</p>	<p>多面的機能発揮対策交付金については、根古谷環境保全課委に対し、1,043,040円を交付し、3月末までに予定されていた農地維持活動及び資源向上活動を実施完了しました。</p>	<p>多面的機能発揮対策を活用して農地の維持・資源向上に関する各種活動を実施することにより、国土の保全・水源の涵養・自然環境の保全・良好な景観の形成・文化の継承等の農業・農村の有する多面的機能の発揮が期待されます。</p>	○	経済環境課

R4施策 (事業)名	R4施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
◆産業経済施策					
②ICを活用した地域振興	酒々井インターチェンジ周辺の土地利用について、富里市・八街市・酒々井町の2市1町で構成する「酒々井インター周辺活性化協議会」により、多様なまちづくりの観点からICの効果を十分発揮できるよう利活用を検討します。	富里市・八街市・酒々井町で構成する「酒々井インター周辺活性化協議会」の総会等において、酒々井インターチェンジの効果を十分発揮できるような利活用を検討するため、今後の事業や取り組みなどについて意見交換及び情報共有を図りました。	酒々井インター周辺活性化協議会の会議等において、今後の事業や各市町の状況などについて意見交換を図ったとともに情報を共有することができた。	○	企画財政課
③観光事業	酒々井プレミアム・アウトレットの隣接地である「まるごとすい」で、定期的なイベント等の開催、町の観光物産等を展示紹介する情報発信コーナーの設置などにより町のイメージアップと街中への誘客を図ります。酒々井コミュニティプラザ及びハーブガーデンは、施設の老朽化対策や維持管理費の縮減と併せて、高齢化社会に適合した町民に愛される憩いの場や健康増進施設にするため、改修に向け、清掃組合等と協議を進めます。	土日祝日にまるごとすいを使用して「楽市」を開催。 このほか、酒々井プレミアム・アウトレットにおいて、観光物産イベントや開業10周年記念イベントなど、年間を通じて3回のイベントを実施しました。 【まるごとすい来館者数】 4月 1,202人、5月 1,226人、6月 1,040人、7月 1,205人、8月 1,338人、9月 1,008人、 10月 1,092人、11月 887人、12月 716人、1月 842人、2月 888人、3月 1,192人 令和4年度計 12,407人(令和3年度実績11,972人) 酒々井コミュニティプラザ改修については、佐倉市酒々井町清掃組合及び佐倉市、酒々井町と費用負担について協議を継続している。	土日祝日に実施している「楽市」や、アウトレットでのイベントなどを通じてまるごとすいの認知度も向上し、それに比例して来客者が増加している。	○	経済環境課

R4施策 (事業)名	R4施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
①住民参加・協働	<p>地域住民が主体となって実施する都市公園等の環境美化活動等への支援や生活環境整備工事に必要な資材等の支給を行うなど、住民公益活動を支援します。</p> <p>また、地域住民の活動拠点となる「下宿ベース」を活用し、地域活動や町民参加意識に応えるとともに、地域の特色を活かした住民活動を支援します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公園等愛護活動推進事業 実施団体: 13団体 実施公園等: 20箇所 2. 花いっぱい運動 実施団体: 10団体 実施回数: 2回(春・秋) 3. 資材等支給事業 実施団体: 3団体 4. 住民公益活動補助事業 実施団体: 1団体 5. 地域活動拠点施設運営事業 利用団体: 延べ14団体 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公園等愛護活動推進事業 13団体が20箇所の公園等で清掃・除草作業等を行い、環境の美化が進みました。 2. 花いっぱい運動 町内各所において、6月に10団体が2,360ポットの花苗を、11月に10団体が2,090ポットの花苗と600個の水仙の球根を植えました。 3. 資材等支給事業 9月にトヶ崎自治会館の敷地整備を、10月に飯積地区の景観整備を、3月に大崎地区の農道整備を行いました。 4. 住民公益活動補助事業 1団体により12月18日に相撲教室が行われました。 5. 地域活動拠点施設運営事業 2団体が定期的に利用しました。 	○	住民協働課

R4施策 (事業)名	R4施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
◆地域社会と行財政施策					
②GIS地図 情報システム	町と住民等の行政情報と地域情報を共有できるGIS地図情報システムを活用した住民の安全・安心なまちづくりを進めます。	<p>【計画】1. 地理情報システム整備事業 「しすいマップ」データの更新 庁内情報共有</p> <p>【実施状況】1. 地理情報システム整備事業 「しすいマップ」で公開中 5情報 新規公開 住宅リフォーム補助金に係る町内施工業者一覧表 廃止 ウォーキングマップ 更新 【酒々井町】ハザードマップ(地震・洪水・土砂災害) バス停と周辺施設マップ 選挙関係 変更なし がいとまっぷ酒々井 データ更新率 80% 庁内情報共有 各課で更新</p>	1. 地理情報システム整備事業「しすいマップ」で公開している情報を更新したことで、町民への情報提供を最新のものにできました。 庁内情報共有については「地番図」データを更新するとともに、各課GIS担当による更新作業を行いました。	○	住民協働課
③町税	賦課徴収事業では各種電算業務委託や課税客体調査業務等を実施し、町税の適正で正確な賦課と公平な徴収を行います。	賦課徴収業務では、各種電算業務委託や課税客体調査業務等を実施し、町税の適正で正確な賦課および公平な徴収を行うことができます。 国民健康保険税に関しては、今年度から未就学児に係る均等割額の5割軽減制度の実施する等、適正な賦課を行うと共に、滞納者への催告書発送や処分等を行い、公平な徴収に努めることができました。	未就学児に係る均等割額の5割軽減制度の実施により、子育て支援の観点から対象世帯の税負担を抑止することができました。	○	税務住民課